

# 日本高齢期運動連絡会ニュース

発行責任者 畑中 久明 発行所 日本高齢期運動連絡会  
〒164-0011 東京都中野区中央 5-48-5 シャンボール中野 504 号  
TEL/fax03-3384-6654 E-Mail nihonkouren@nifty.com  
<http://www.nihonkouren.jp>

No.362  
発行 2024 年 2 月 5 日



2.1 高齢者中央集会 2024 年 2 月 1 日 衆議院第 2 議員会館多目的会議室

## 2.1 高齢者中央集会

今年で 41 回目を迎える「2.1 高齢者中央集会」（2024 年 2 月 1 日）には 112 名が現地参加し、全国 46 か所からオンラインによる参加がありました。集会では鹿児島大学の伊藤周平教授による学習講演『社会保障の財源問題と政策課題 - 権利としての社会保障の確立に向けた高齢者運動の課題 -』がありました。集会では当日寄せさせた「75 歳以上医療費窓口負担 2 割化の中止を求める」署名 5 万 2 5 7 5 筆（累計 9 1 万 4 3 2 0 筆）を国会議員に託しました。そして、集会アピール「アメリカ言いなりの軍事費増大ではなく、社会保障を充実させ、国民の暮らしを守れ！の声を全国にひろげよう」を参加者で確認しました。集会にはれいわ新選組、日本共産党、立憲民主党、社民党の議員より激励あいさつ、メッセージが寄せられました。集会終了後、衆議院、参議院の厚生労働委員に対して訪問・要請を行いました。

### 開会あいさつ



杉澤隆宣全日本年金者組合中央執行委員長は能登地震にふれて、命と健康、住む家の確保、温かい食事、仕事収入の確保など、優先的に取り組みを政府に強く要求したい。地元では「バス停毎にトイレをつくれ」など切実な要求を掲げ町役場に交渉している、平成の大合併で公務員が減り、派遣職員が増えて、住民に対応できないという実態を紹介しました。また、2003 年に住民運動で珠洲市に原発をつくらせなかった。もしできていたら福島事故以上の大災害になった。政府は物価高を下回る今年の年金額を発表した。

参加の皆さん、年内にある総選挙、高齢者が天下をひっくり返すような、運動、爆発する運動、私達の運動で起爆剤にしたいと思います。

## 各団体・参加者から報告

### 介護保険制度をめぐる経過と到達点

林信悟（中央社会保障推進協議会事務局長）さんは、2004年4月から「介護で社会を支える」との触れ込みで始まった制度が低く据え置かれた介護報酬と制度改悪で23年間を経て「保険あって介護なし」という状況を創り出していることを報告しました。そして2022年10月に政府が出した史上最悪の改悪案に対して全国で反対運動が巻き起こっていること、介護保険制度を抜本的に改善させていくためには国庫負担の引き上げが不可欠であること、「介護する人も、受ける人も大切にされる介護制度をめざし運動を広げようと呼びかけました。



### 12月2日の保険証廃止を撤回させよう



上所聡子（全国保険医団体連合会事務局）さんは医療現場でのマイナ保険証の利用率が報道で4%台とあるが、実態は2%台で極めて低く、国民の不安は払拭されていなし、トラブルも多発している、利用するメリットがない実態を指摘。災害時も実物の保険証があったほうが安心。健康保険証の存続を求める世論を広げる重要性を訴える。地方からも意見書が多く出されていることも紹介し、引き続き保険証をなくさない運動を呼びかけました。

### 女性年金はなぜこんなに低い

中川慈子（全日本年金者組合副委員長・女性部長）さんは日本の年金は低年金で高齢者が生活できない。65歳以上の年金で暮らしている高齢者3600万人の内、女性の3割が月額5万円未満、約8.5割が10万円未満と女性の年金が極めて低額で1人暮らしが困難な実態を紹介。男女の生涯賃金格差が年金格差につながっていると指摘し、国の制度として全額国保負担による最低保障年金制度の創設を創設することが必要と訴えました。



天畑大輔議員

左より もとむら伸子議員、杉澤隆宣全日本年金者組合中央執行委員長、小池晃議員、阿部ともこ議員、大椿ゆうこ議員、宮本徹議員

メッセージを寄せていただいた国会議員 日本共産党 塩川鉄也議員 笠井亮議員  
会場に激励に来られた議員 野間健議員

## 学習講演

『社会保障の財源問題と政策課題 - 権利としての社会保障の確立に向けた高齢者運動の課題 - 』（講演概要）  
伊藤周平 鹿児島大学教授

### 1. 問題の所在 - 少子化対策の財源問題と保育をめぐる現状

・新型コロナ対策で巨額な財政支出が行われた一方、一昨年には安保関連3文書が閣議決定され、2027年度まで5年間で防衛費をGDP比2%、43兆円にするとし、財源に1兆円強増税するとして国民から大きな反発を招いた。迷走の末、岸田政権は2023年12月に異次元の少子化対策の財源として2026年度から医療保険料への上乗せ徴収と社会保障の歳出削減を行うとした。

・社会保障の歳出削減は高齢者をターゲットにした後期高齢者医療保険料、介護保険料引き上げ、さらに利用者負担の増大。世代間対立を煽るようなやり方で行っている。コロナ感染でも能登半島大地震でも高齢者の命がすごく軽く扱われている。高齢を理由に人工呼吸器の利用を拒否される、入院治療を拒否されるとか、命の選別、高齢者の人権侵害。能登半島地震で避難先が体育館や公民館の床に座らされて、仕切りもない、人権後進国だ。



### 2. 社会保障の財源問題

・日本の社会保障費用は高齢化の進展に伴い年金・医療を中心に財政規模を拡大してきた。この財源をどこに求めるかが一般に社会保障の財源問題。歴代政権は高齢化で自然に増加していく＝自然増の部分削減してきた。

・社会保障の削減は新型コロナのパンデミック時に多くの高齢者が病床不足で入院できず、在宅で死亡するという悲惨な結果をもたらした。介護も家族の負担が増え、虐待や心中事件が後を絶たない。

・そもそも社会保障は国民生活に必要な制度であり国や自治体の予算が優先的に配分されるべきもの。財政が厳しいから社会保障を削減するべきということは成り立たない。

### 3. 消費税による社会保障財源の確保とその問題点

・日本では1989年導入の消費税が社会保障の主要な財源として位置づけられてきた。社会保障の充実のためと税率が引き上げられてきた。2012年の「社会保障・税一体改革」では消費税の用途を「年金、医療、介護、少子化対策」と限定していたが、実際は一般会計の中に流し込まれている。何に使われているかがよくわからない、消費税は社会保険目的税ではない。社会保障制度改革推進法では社会保障費の削減も規定しており社会保障の充実のための財源は消費税増税の他には社会保障給付の削減により捻出するとしている。

・社会保障・税の一体改革の本質は他の歳入がいくらあろうかと、社会保障の充実は消費税の増税と他の社会保障給付の削減で捻出した財源でしか賄わないということ。消費税増税を封印した岸田政権のもとでは高齢者分野の給付削減で財源を捻出し、子育て分野の給付に回すという手法が頻繁に用いられている。

・消費税は1) 家計支出に占める消費支出の割合が高い低所得者ほど負担が重い。世界でもトップスラス。2) 中小事業者は消費税分を価格に転嫁できず自腹を切って納付しなきゃいけない。事業者の不特定財政に対する直接税になっている。3) 輸出大企業には多額の還付金が支払われている。4) 消費税の増税は不安定雇用・低賃金雇用を増やし、少子化を促進する。逆進性が強く、まさに貧しい人がどんどん貧しくなって、富める人がどんどん富んでいく、究極の不公平税政。これを社会保障の主要財源するのは間違い。

・消費税はインフレ税、物価上昇が実質増税になっている。物価高に苦しむ国民生活を守るため 100 カ国以上が付加価値税を減税した。岸田政権は世界の流れに逆行している。消費や経済の回復も遅れている。

#### 4. こども・子育て支援金と社会保障の歳出削減

・少子化対策・子ども関連施策の財源で消費税の選択が排除され、社会保障の削減と社会保険料が浮上した。医療保険料に上乗せして、これを子育て支援に回す。明らかに後期高齢者医療制度の後期高齢者支援金をモデルにしている。子育て世帯とそれ以外の世帯との分断・対立構造を持ち込むもの。

・社会保険料による財源確保は、消費税と同じに逆進性が高い、低所得者・世帯にも課税される、貧困を助長する。保険料は労働コスト、賃上げを抑制する。社会保険は加入しなければ給付されない。保険料を払えなければ児童手当も育児休業給付も保育サービスも受けられないことになる。

・政府は「給付は高齢者中心、負担は現役世代中心」の構造を改め、高齢者への給付財源を削り、少子化対策などの財源に回すというが、給付削減策は社会保険負担軽減にはならない。日本は世界一の高齢化率の国にしては、非常に低い。全世代にわたって社会保障給付の底上げが必要。

#### 5. 社会保障の財源確保と税制改革の方向

・社会保障の財源は、所得税・法人税の累進性を強化し、富裕層や大企業・多国籍企業への増税により確保すべき。日本では消費税の増税にあわせて法人税が減税されてきた。資本金 10 億円以上の大企業の実際の税負担率は 10% 台。所得税は 1986 年まで最高税率 70% であったものが 45% とフラット化してきている。

・コロナ・パンデミックによる巨額の財政出動で財政悪化した国々では財政再建と社会保障の財源は大企業や富裕層への課税強化で賄うべきと、国際的な合意ができつつある。

#### 6. 権利としての社会保障と高齢期運動の課題

・WHO がパンデミックを宣言した 2020 年、国連は「年齢や既存の障害または主観的なバイアスに基づくのではなく医学的ニーズ、倫理的基準および利用可能な最良の科学的、証拠に基づくことを保証する必要がある」と日本を含む 146 カ国が共同声明を出した。しかし、日本政府は何もやってない。大震災が 3 回 4 回あって、熊本地震でも災害関連死が起きた、それを検証した上で、政策立てるべきだが、全然やっていない。

・国民や地域住民がいつでもどこでも経済的能力に関わらず最善かつ安全な医療を受ける権利がある。だから必要な医療提供体制を整備する法的責任がある。病床削減を中心とした医療費抑制政策を転換していくべき。

・将来的には後期高齢者医療制度を廃止して全ての国民を適用対象とする単一の医療保険制度を構築すること。公費負担と事業主負担を増大させ、収入のない人や生活保護基準以下の低所得の人については保険料免除して、一部負担金は廃止すべきだ。

・年金政策は負担と給付をリンクさせる社会保険方式を採用しているが、基礎所得すら保障できず破綻している。所得の保障については、税方式による最低保障年金を確立すべきだ。最低保障年金の確立によって生活保護受給者の半分以上を占める高齢者は確実に減少する。

・年金給付は高齢化が進む地方では経済において大きなウエイトを占めている。マクロ経済スライドは廃止し、高齢者のみならず現役世代の老後の安心を拡充すべき。そのことが地域経済を活性化させ、好循環を生み出す。

・社会保障の財源確保策を対案として提示して、対立を煽る言説を批判しながら、社会保障の充実を求める運動が今こそ必要。  
(講演とレジュメを元に編集しました)

## 【兵庫県】

# 2023年度 兵庫県高齢者大会 in 尼崎 ～ひとりぼっちの高齢者をなくそう～

2023年12月9日(土) 尼崎市立小田南生涯学習プラザにて「兵庫県高齢者大会 in 尼崎」を開催し190名が参加しました。

兵庫県高齢者大会は「まちから村からひとりぼっちの高齢者をなくそう」を合言葉に、コロナ禍で2年間中断したこともありましたが、昨年に引き続き開催。

大会では、記念講演として神戸健康共和会の藤末理事長から「高齢者の人権」をテーマに話していただきました。日本の高齢者の人権意識が外国に比べて遅れを取っていること、憲法で健康権が保障されていることなど、熱く語っていただき、とても分かりやすい講演でした。「高齢者の人権という難しいテーマを分かりやすく話してもらえて良かった」「人権に対してすごく考えさせられた」という声が複数の参加者からありました。

後半の文化行事は、新婦人のコーラス、潮江診療所のリハビリスタッフによる尼崎体操、年金者組合の太鼓を使用した踊りで、楽しく体も動かしつつ皆で楽しみました。

当日は実行委員会の予想を超える参加人数で、会場は熱気がすごく、窓を開けるだけでは温度が下がらず冷房も使用するなど、嬉しい悲鳴でした。



高齢者をとりまく暮らしの状況は、「社会的孤立」「認知症」「老々介護」などさまざまな問題が暮らしの中で起きています。最近1～2年の情勢では「後期高齢者の医療費窓口負担2倍化」「物価高騰」など更なる困難も生まれています。地元や他県の高齢期運動連絡会などの各団体とも連携し、地域で高齢者のつながりを広げ、高齢者のネットワークづくりを重視していきたいと考えています。

(兵庫県高齢期運動連絡会事務局 岡田)

## 【福島県】

# 日本高齢者大会 in 東京に取り組んで

福島県会津方部連絡会では毎年大会参加を楽しみにしている。オンラインでの日本高齢者大会参加は3回目。実際の参加と違い、音響が聞き取りにくい、迫りに欠けるなどの問題はあるが、現地への参加が難しい方でもオンラインだからこそ近くの会場で参加できるというメリットもある。

会津方部連絡会には年金者組合、医療生協のほか生活と健康をまもる会、民商、新日本婦人の会、地方労連など17団体が加入している。連絡会では大会参加に向け9月から実行委員会を開き、参加は実人数で50名という目標のもと各団体での参加目標を確認した。また、参加しやすいように会津若松、喜多方、会津坂下の3会場を



若松会場

準備し、申込書付きの独自のチラシを作り、団体ごとに参加者を募ることにした。分科会は各会場を選び、「多世代でつながり豊かな地域づくり」「私たちの暮らしはなぜ破壊され続けるのか・ジェンダー平等で未来を切りひらく」「沖縄と全国の米軍基地問題」の3つに決めた。また、当日は実行委員中心に受付や設営、プロジェクターの操作などの担当を決めてスムーズな運営をめざした。その結果、12団体から実人数62人、2日間でのべ88人が参加して学ぶことができた。

分科会の参加者からは「自衛隊基地が米軍基地になり、日本全国の自衛隊基地はアメリカのために存在することが良く分かった」「戦争をしない平和を子どもたちに手渡すためにできることを頑張りたい」「一人一人が人間として、人間らしく生きられる世の中をつくりたい」などの感想が寄せられた。また、全体会ではオープニングのうたごえや文化行事から元気もらい、柳沢協二氏の全体講演は「たいへん分かりやすく説得力があり、どのような視点で何をなすべきか明確にできた」と多くの方から声が届いた。

会津方部連絡会は各団体から参加の協力を得られるので意思統一して参加者を集めることができる。各団体が集まるからこそ運動になっていくので、今後とも多くの方とつながって学習していきたい。日本高齢者大会運営のみなさん、ありがとうございました。



喜多方会場

(会津方部連絡会事務局長 青木悦子)

# 第37回日本高齢者大会 in あいち 特集

今回は大会会場の紹介です

名古屋国際会議場

2024年11月22日(金)午後 分科会、学習講座、移動教室

2024年11月23日(土・祝)午前 全体集会

会場：名古屋国際会議場



日本高齢期運動サポートセンターより2024年5月に開催される「第14回国連高齢化に関するオープンエンド作業部会」の参加要項が下記のように発表されました。

2024年2月6日

## 「第14回国連高齢化に関するオープンエンド作業部会」参加要項

### 1. 国連高齢化に関する作業部会（ワーキング・グループ）の日程と場所

〈WGの日程〉2024年5月20日から24日まで、但し23日を除く実質4日間

〈WGの場所〉ニューヨーク国連本部

〈参加の旅程〉2024年5月19日東京出発～26日東京帰着

### 2. 募集人数と申込み

〈募集人数〉10名

〈申し込み締切り〉2月末日

### 3. 参加費用概算と内訳

〈費用概算〉50万円/人

〈費用内訳〉航空券、現地宿泊、現地移動手段および現地コーディネーター等の費用。東京発の直行便使用の予定で、申し込み集約後に当法人が手配します。その他の諸費用は含みません。

なお、昨今の円安の影響もあり、航空券代、ホテル代などが高騰しています。また、費用は予約や発券の時期および航空券種やホテルのランクによっても変動しますのであくまで概算です。

### 4. 申込み・お問い合わせ

〈申込み・問合せ先〉日本高齢期運動サポートセンター

〈e-mail〉 [kourei-s.c@nifty.com](mailto:kourei-s.c@nifty.com) 〈電話・fax〉 03-3384-6654

〈備考〉WG参加にあたって求められる事前課題のレポートについては当法人が準備しますが、各人・各団体のとりくみなどを事前にご報告いただき、代表団としてとりまとめ配布資料を作成する予定ですのでご協力をお願いします。



## 第36回日本高齢者大会 in 東京 報告集を受付中です

1部 1000円

### 学習講座

- 第1学習講座 日本を「戦争する国」にしていいの？
- 第2学習講座 私たちの暮らしはなぜ破壊され続けるのか—克服の道を考える
- 第3学習講座 ジェンダー平等で未来を切りひらく
- 第4学習講座 気候の危機をどう受け止めるか
- 第5学習講座 防災とまちづくり
- 第6学習講座 コロナ禍でみえた日本
- 第7学習講座 日本の農業と自給率、1
- 第8学習講座 高齢者の就労と貧困問題
- 第9学習講座 いのちのとりで裁判と生
- 第10学習講座 マイナンバーカードで、
- 第11学習講座 インボイス（適格請求書）  
私たちの生活にどう影響す

### 記念講演

#### 非戦の安全保障論 —戦争しない国であり続けられるために—

榊原 徹二さん  
NPO国際平和学習院理事長  
・東京大学国際学部長

おはようございます。榊原と申します。九  
本の会とか、いろんな市民団体に呼ばれてお  
話に行きますが、来てくださる方、ほとんど  
高齢者です。今回は高齢者大会ということで、  
高齢者と同じペースでお話をさせていただけ  
と感謝しています。私は今、「非戦」というキ  
ワードに拘っています。これは反戦とか、戦  
争というものは怪しからんだけれど、怪し  
からんというだけでなく、これだけいろんな  
有言無言がある中で、対立は避けられない、何と  
しかしそれを戦争という形にしない、何と  
かコントロールできないだろうかということ  
をメッセージとして出していかなければと考  
えています。

### 戦争不安の時代

#### 戦後初めて、戦争の不安を感じる

私は1945年に防衛庁に入り、防衛省誕生の  
中だった。正直言って当時が産業界が日本に攻

